

平成17年島根県立三瓶自然館研究発表会について

はじめに

三瓶自然館では、これまで実施してきた自然や環境に関する活動や調査研究について発表し、県民の方々と共に考え、意見情報交換する場として研究発表会を開催している。

2年日となる本年は、3月、6月、9月に館内において近隣の関係機関や職員を対象に開催し、12月には松江市に会場を移し、「島根の自然・環境を考える」をテーマとして大学、各研究機関、民間の方の発表も併せて開催した。

研究発表会 題目・発表者

第1回 3月9日(水)

「三瓶自然館における展示案内のあり方」 島根県立三瓶自然館 竹内幹蔵

「草刈り回数の違いは北の原の草花の開花に影響を与えているか？」 島根県立三瓶自然館 井上雅仁

第2回 6月8日(水)

「雪室の試作について」 島根県立三瓶自然館 福岡 孝
押越正雄

「益田平野の地史の検討(概報)」 島根県立三瓶自然館 中村唯史

「島根県の自然環境の展望」 島根県立三瓶自然館 森本直知

第3回 9月9日(金)

「江津市におけるキクガシラコウモリの冬眠数の変動と、洞窟性コウモリの保護」 島根県立三瓶自然館 大畑純二

「ダイコクコガネを含む三瓶山の糞虫相について」 島根県立三瓶自然館 皆木宏明

島根の自然・環境についての発表会 12月14日(水)

「三瓶山放牧地における糞虫相」 島根県立三瓶自然館 皆木宏明

「隠岐の昆虫、アオハナムグリ」 島根大学生物資源科学部 箭内 緑
星川和夫

「50年前の宍道湖・中海」 島根県保健環境科学研究所 石飛 裕

「太陽系外惑星のトランジット観測」 島根県立三瓶自然館 矢田猛士

「山の神様と話がしたい」 大田の自然を守る会 伊藤 宏

「イズモコバイモの保護」 島根県立三瓶自然館 葭矢崇司

「ツキノワグマの異常出没を考える」 島根県中山間地域研究センター 澤田誠吾

「松江低地10000年の自然史を探る」 島根県立三瓶自然館 中村唯史

今後の展望

三瓶自然館は平成17年度から指定管理者制度が導入され、財団法人三瓶フィールドミュージアム財団が引き続き管理運営にあたることとなった。これより自然館の業務が明文化され、その第一の業務として「①自然保護に関する普及啓発及び調査研究に関すること」があげられた。

これに基づき、(財)三瓶フィールドミュージアム財団は、従来に増して、県内の自然環境に関する調査研究を進め、さらに県民の皆様に対し自然保護・自然環境に関する普及啓発が図れるよう、その調査研究結果を積極的に公表している。あわせて、当館は島根県内の自然系の情報発信の中核としての役割も担うことから、今後も県内各地で定期的に「研究発表会」を開催し、調査研究の結果報告に併せ意見交換、情報交換の場を提供していきたい。

最後に、本発表会でご発表いただいた島根大学生物資源科学部 箭内 緑氏、島根県保健環境科学研究所 石飛 裕氏、大田の自然を守る会 伊藤 宏氏、島根県中山間地域研究センター 澤田誠吾氏並びにご指導いただきました島根大学教授 星川和夫氏の各氏に心から厚くお礼申し上げます。